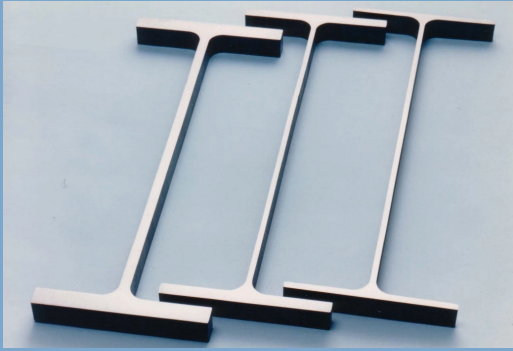




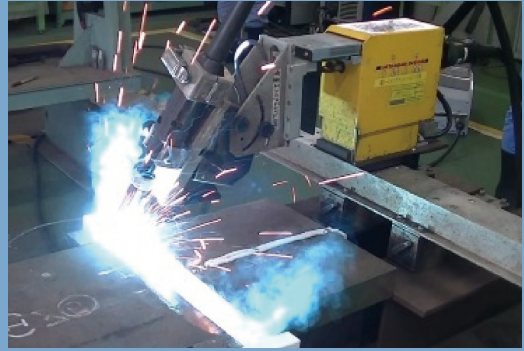
ハイパービーム® × パス間温度緩和工法

梁・床構造 早く・経済的 使いやすく・確実 環境にやさしく・持続的

パス間温度緩和工法は当社鋼材の溶接性を活かして多層盛溶接時のパス間温度の制限を緩和する工法です。ハイパービーム(外法一定H形鋼)との組合せによって、溶接時間の削減が可能です。



ハイパービーム®



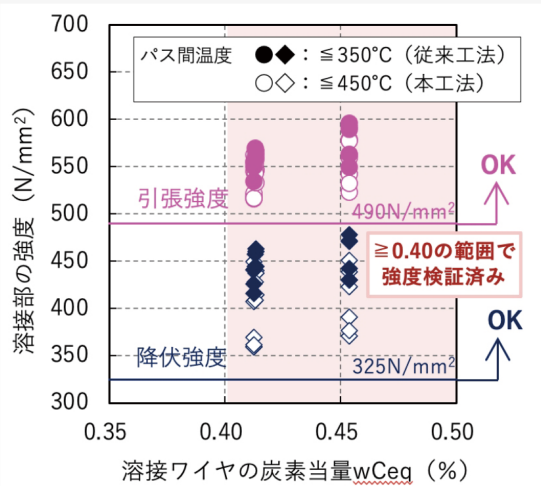
パス間温度緩和工法
(評定CBL SS002-19号)

※パス間温度緩和工法は、日本製鉄株式会社と株式会社角藤の共同開発工法です。

ハイパービーム® × パス間温度緩和工法のメリット

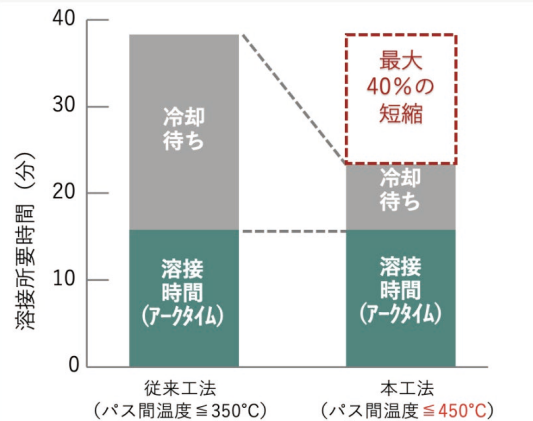
- 溶接時間の短縮：パス間温度緩和により、溶接部の強度を確保しながら、最大40%の溶接時間を短縮可能です。

wCeq の下限を規制し、パス間温度を緩和



溶接ワイヤの炭素当量wCeqと溶接部強度の関係

溶接時間を最大 40% 短縮しロボット稼働率拡大



【従来工法と本工法の溶接所要時間の比較例】

従来工法と本工法の溶接所要時間の比較例

上記の試算はあくまで一例であり、条件等によって適用効果は異なる場合があります。

【ご注意とお願い】 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

日本製鉄株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
Tel: 03-6867-4111 Fax: 03-6867-5607
www.nipponsteel.com

ハイパービーム® × パス間温度緩和工法 ProStruct® 建築分野
K301_02_202311f
© 2023 NIPPON STEEL CORPORATION 無断複製転載禁止